

2012年度 行事報告

【総会】

日 時：2012年7月16日（月・祝日）
場 所：佐倉城址公園
参加者数：76名

総会が佐倉城址公園で行われました。事務局より23年度会計報告と24年度世話人と行事予定の提案があり了承されました。

【第64回観察会】

日 時：2012年7月16日（月・祝日）
場 所：佐倉城址公園
講 師：吹春 俊光
参加者数：76名
採 集 数：63種（不明種を含む）

佐倉の観察会はカラカラ天気のために観察できるきのこが殆ど無いというのがここ数年の状況です。おまけに今年は春の訪れが遅くて夏の初めは寒い日が続いたりしたので、ど

うなることかと心配していました。しかし、予想していたより観察できた種は多かったように思います。それでも、やっと夏のきのこが出始めたという感じでしょうか、イグチの仲間など大きなきのこは少なかったです。

同定会でツエタケの仲間は分類が困難という解説がありました。「ツエタケよ、お前もか!」

観察記録（50音順）

geastrum、アイゾメクロイグチ、アセタケ属1、アセタケ属2、アセタケ属3、アミスギタケ、アラゲキクラゲ、ウズラタケ、ウチワタケ、ウラグロニガイグチ、オオシロサルノコシカケ、オオツルタケ、オオホウライタケ、オキナクサハツ、オトヒメアンズタケ、オニイグチ、カレバキツネタケ、カワウソタケ、カワラタケ、キチャハツ、キツネノカラカサタケ属、キヒダタケ、クモタケ、クロアシボソノボリリュウタケ、クロラップタケ、コウジタケ、コフキサルノコシカケ、シロタマゴ



第64回観察会 集合写真 2012年7月16日

テングタケ、シロハツ、スジウチワタケモドキ、スミゾメヤマイグチ、タマゴテングタケモドキ、チチアワタケ、ツエタケの仲間、ツチグリ、ツヤウチワタケ、ツルタケ、テングタケ属、テングツルタケ、ナヨタケ属、ニセショウロ属、ノウタケ、ハイイロイタチタケ、ハナオチバタケ、ヒイロタケ、ヒメキシメジ、ビョウタケの仲間、コブリビロードツエタケ(=ビロードツエタケ)、ヒロヒダタケ、フクロツルタケ、ベニヒダタケ?、変形菌類、ホウキタケ属、ホソネヒトヨタケ、マメザヤタケの仲間、ミドリニガイグチ、ヤナギマツタケ、ヤマドリタケモドキ、ユキラップタケ?、ロウタケの仲間



最初はコキララタケと思われたホソネヒトヨタケ

【第65回観察会】

日 時：2012年9月17日(月・祝日)
 場 所：泉自然公園
 講 師：吹春 俊光
 参加者数：61名
 採集数：86種(不明種を含む)

この日、ちょっと体調を崩して観察会を休みました。なので、実際の観察会の様子は分かりません。気象データと千葉菌のHPにアップされた写真を参考に推察しますと、この日の天候は晴れ。気温は31℃にも達し、9月半ばと言うのにとっても暑い日でした。前夜に多少の降雨があった模様。大勢の参加者の観察力で採集種はかなりの数に達したようです。夏のきのこの代表格のはずのテングタケの仲間がやっと顔を出してきました。一見、コキララタケに似ているが、柄の根本が違うホソネヒトヨタケというちょっと珍しいきのこが見つかったようです。比較的珍しいカレー臭(加齢臭ではありませんよ!)のするニオイワチチタケも数個見られました。毒きのこのオオシロカラカサタケも観察できました。このきのこの特徴はひだが緑色ですから、しっかり覚えましょうね。

観察記録(50音順)

アイゾメクロイグチ、アイタケ、アカカバイロタケ、アカキツネガサ、アカチャツエタケ、

アカヤマドリ、アクイロウスタケ、イヌセンボンタケ、ウコンハツ、ウスキテングタケ、ウスヒラタケ、ウチワタケ、ウラグロニガイグチ、オオシロカラカサタケ、オオホウライタケ、オキナクサハツ、オニイグチ属の1種、オニタケ、カイガラタケ、カサヒダタケ、カレバキツネタケ、カワラタケ、カワリハツ、ガンタケ、キアシグロタケ、キイロイグチ、キチャハツ、キツネノカラカサ属の1種、キヒダタケ、クサハツモドキ、クモタケ、クラガタノボリリュウタケ、クリイロイグチ、クリイロカラカサタケ、クロハツ、クロハツモドキ、ケショウハツ、コイヌノエフデ、コウジタケ、コガネヤマドリ、コテングタケモドキ、コフキサルノコシカケ、サクラタケ、サナギタケ、シロソウメンタケ、シロハツ、スミゾメヤマイグチ、セミノハリセンボン、ダイダイガサ、タマゴテングタケモドキ、チチアワタケ、チチタケ属の1種、チャニガイグチ、ツエタケ属の1種、ツチグリ、ツチナメコ、ツヤウチワタケ、ツルタケ、テングタケ、テングタケ属の1種、冬虫夏草類の1種、トキイロヒラタケ、ドクカラカサタケ、ドクツルタケ、ナガエノチャワンタケ、ナナフシテングノメシガイ、ニオイコベニタケ、ニオイワチチタケ、ニッケイタケ、ノウタケ、ハイイロイタチタケ、ハナオチバタケ、ヒメコウジタケ、ヒメコナカブリツルタケ、ヒメヌメリイグチ、ヒロハシデチチタケ、ヒロヒダタケ、フクロツルタケ、ベニヒダタケ、ホソネヒトヨタケ、ボタン

イボタケ、ミドリニガイグチ、ミヤマオチバタケ、ミヤマザラミノヒトヨタケ、ヤマドリタケモドキ、ワサビカレバタケ

【第66回観察会】

日時：2012年10月8日（月・祝日）

場所：市原市民の森

講師：吹春 俊光

参加者数：61名

採集数：96種（不明種を含む）

本当にたくさんのきのこので、同定会場のテーブルの上は溢れんばかりです。今年の夏は酷暑が長く続き、雨も少なかったせいか、秋のきのこの発生が遅れているようです。10月だというのにテングタケの仲間のような、夏のきのこのが最盛期を迎えている状態。タマゴタケが信じられないくらい大量に採れました。初めて見る白いタマゴタケもありました。フウセンタケの仲間やウラベニホテイシメジなどは非常に少ないのが今年の特徴でしょうか。それでも大収穫を目の前にして参加者の皆さんのテンションが高まるのも無理はありません。やはりたくさんのきのこのが観察できるのは嬉しい限りです。

観察記録（50音順）

アイタケ、アカチャチタケ、アカヤマタケ、アカヤマタケ属、アカヤマドリ、アシゲロホウライタケの仲間、アシナガイグチ、

アメリカウラベニイロガワリ、アンズタケ、イッポンシメジ科の不明種1（黄色）、イッポンシメジ科の不明種2（紫色）、イッポンシメジ属、イロガワリフウセンタケ、ウコンハツ、ウスキテングタケ、ウスタケ、ウスヒラタケ、ウラベニホテイシメジ、オオツルタケ、オオホウライタケ？、オニタケ、カキシメジ、カブラテングタケ、カワリハツ、ガンタケ、キアミヤマドリタケ、キイロイグチ、キクバナイグチ、キショウゲンジ、キタマゴタケ、クサウラベニタケ、クサハツ、クリイロイグチ、クリカワヤシャイグチ、クロハツ、クロハツモドキ、ケショウハツ、コガネヤマドリ、コテングタケモドキ、コナカブリカラカサタケ、コビチャニガイグチ？、コフキサルノコシカケ、サクラシメジ、サクラタケ、サマツモドキ、シシタケ、ショウロ、シロオニタケ、シロソウメンタケの仲間、シロタマゴテングタケ、ズキンタケ、スツポインタケ、セイタカイグチ、タマゴタケ、タマゴタケ（白色）、タマシロオニタケ、チシオタケ、チチタケ、チャワソウタケの仲間、ツエタケの仲間、ツチカブリ、ツチナメコ、ツルタケ、テングタケ、ドクカラカサタケ、トビチャチタケ、ナカグロモリノカサ、ニガイグチモドキ、ニガクリタケ、ニセショウロ属、ニワタケ、ヌメリニガイグチ？、



第66回観察会の同定会場（↑）・（→）

ノウタケ、バカマツタケ、ハタケシメジ、ハナビラニカワタケ、ハラタケ属、ヒナアンズタケの仲間、ヒメツチグリ属、ヒロヒダタケ、フウセンタケの仲間1 (濃い紫色)、フウセンタケの仲間2 (紫色)、フウセンタケの仲間3 (薄紫色)、フクロツルタケ、フサヒメホウキタケ、フジウスタケ、ベニイグチ、ベニタケ類、ベニチャワソウタケモドキ、ヘビキノコモドキ、ホウキタケの仲間、ホンシメジ?、マントカラカサタケ、ミネシメジ、ヤグラタケ、ヤマドリタケモドキ

【第56回日本菌学会参加】

日時：2012年5月26日(土)～27日(日)
場所：岐阜大学

日本菌学会第56回岐阜大会のアマチュアの会有志によるコーナー「アマチュア研究者の取り組み(2012年)」へ参加し、本会の紹介ポスターおよび会報の展示、会報最新号(28号)の販売を行いました。

【第21回スライド会】

日時：2013年1月26日(土)
場所：千葉県立中央博物館講堂
参加者数：70名

今年も関西や東北も含め、多数の方の発表があり、時間が押し気味でした。こうやって1年を振り返ると、本当に多様なきのこに出会えたんだなあと思いました。毎年行うスライド会の意義みたいなものを感じます。

幕張きのこ観察会の紹介では子供たちを飽きさせない工夫があり、とても興味深く拝見しました。また、昨年も紹介された江戸川区の子供向け菌類講座は替え歌もあって面白いです。きつきのこ大好きキッズが増えることでしょう！

小物展示コーナーではオリジナル作品の出品が多くなってきたと思います。皆さん、すごいですね！キャンディやきのこグッズのプレゼントもあって、とっても得した気分でした。

今年は人数が揃わないとのことで「すずらん」によるハンドベル演奏が無かったのが残念でした。来年は聴けるかな？

スライド発表

吹春 俊光：タイプ標本はみなきやだめ！
宮林 八男：千葉県内で見つけた2012年のきのこ
山本 充弘：2012年撮影からの抜粋
後藤 康彦：2012年のきのこ
萩本 宏：妖怪松茸物語
大久保泰和：子囊菌の世界を覗く
浅井 淑子：いわきで出会ったキノコたち
前川 啓二：キノコと友達になろう 2012
中田真也子：親子で発見、幕張のきのこ観察会
-埋め立て地でもこんなきのこが！
須賀 良行：24年のきのこ
吉永 潔：24年のきのこことニュージーランドのきのこ
三休さん：採集紀行伝「西国演義」

小物展示コーナー

<写真>

写真アルバム「きのこたち」、マイタケの写真、ヤマドリタケモドキの発生から消滅

<書籍・資料等>

幕張のきのこ観察会グッズ&きのこキャラクター、ヤマドリタケモドキと気象関連、谷津ミュージアムのきのこ、きのこの外国古書

<小物展示品>

仙台駄菓子「山益屋」の“毒キノコ飴”、京都の懐中しるこ“たけの露”、ロクショウグサレキ染のハンカチーフ、きのこを描いた陶芸品、きのこの編みぐるみ、きのこのプレート、アクセサリ、おさわりなめグッズ、オートマタ、オリジナルきのこスタンプ&ポストカード、北研のしいたけ醤油と麵つゆ、手づくりキャラメル、竹べら&ユニット鎌、ドングリ独楽、採集生菌(ヒラタケ、ショウロ、エノキタケ)、乾燥茸(マンネンタケ、アミガサタケ、アラゲキクラゲ)
なお出品者名は割愛させていただきました。

— 担当者よりごあいさつ —

きのこへの思いが沢山詰まった作品を見て、触って、食べて尚、一部は出展者の御厚意でゲット出来たりと、楽しい時間を過ごせました事、出展者の皆様には紙面をお借りして感謝申し上げます。

小物展示担当 菊池栄子・大蔦和子